

凹谷折り

凹谷折り

凸山折り

凸山折り

凸山折り

裏面

表面

安全にお使いいただくために

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使い方は火災や感電による人身事故につながる可能性があります。ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

- 警告** 「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
- 乾電池は、充電しない。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
 - ACアダプターを使用する際は、指定以外の電源、電圧、プラグの極性で使用しない。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。
 - 屋外使用中に雷が鳴り出したら、すぐに使用を中止する。落雷の原因となります。
 - ACアダプター使用中に雷が鳴り出したら、ACアダプターのプラグに触れない。落雷による感電などの原因となります。
 - ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしない。感電、ショート、火災の原因となります。
 - 車、バイクの運転中はイヤホンでの使用や、細かい操作をしない。歩行中に聞く場合、周囲の交通に十分注意する。交通事故などの原因となります。

- 注意** 「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
- 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気のあたる所には置かない。故障の原因となります。

- 窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる所、暖房器具のそばなど、異常に高温になる所に置かない。故障及び火災の原因となります。
- イヤホン使用時、耳を刺激する大音量で聞かない。聴力障害などの原因となります。
- 電池は、プラス(+)とマイナス(-)の表示通りに入れる。電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。
- 指定以外の電池は使用しない。新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。種類の異なる電池(例:アルカリとマンガン)と一緒に使用しない。電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。
- 長期間ご使用にならないときは、電池を取り出す。電池の液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。

「ラジオ本体のお手入れの仕方」

柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤を少し含ませてお拭きください。シンナー・ベンジン・アルコールは本体をいためる可能性がありますので使用しないでください。

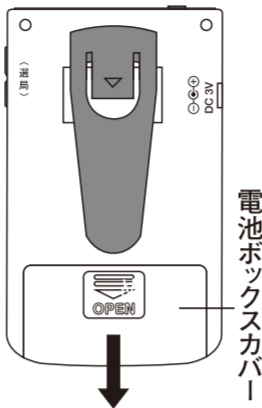
故障かな?と思ったら

現象	点検方法
音が出ない	●音量が最小になっていないか確認。 ●乾電池の残量を確認(残量がない場合は電池を交換)。 ●イヤホン端子にイヤホンプラグを接続していないことを確認。
雑音が入る	●携帯電話、テレビ、蛍光灯の近くで使用していないことを確認。

電源について(AC/DC2電源対応)

乾電池装着の仕方

- 本体背面の電池ボックスカバーの矢印部分を押しながら下にスライドさせます(右図参照)。
- 電池ボックスに、単4形乾電池2本(別売)を入れます。電池ボックス内に表示されているプラス(+), マイナス(-)の極性通りに正しく入れてください。
- 電池ボックスカバーを①と逆の手順で閉めると、装着完了です。

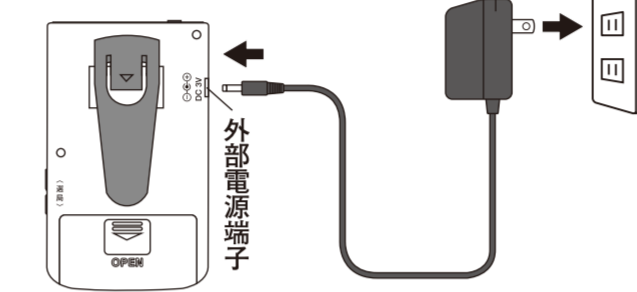


※電池交換は手早く行ってください。電池を外した状態が約20秒以上続くこと、設定した現在時刻や受信局メモリーが消失します。設定が消失した場合は再度設定し直してください。※本機はアルカリ乾電池の使用をお薦めします。マンガン乾電池、充電式乾電池では使用可能時間が短くなります。

家庭用コンセントへの接続の仕方

- 市販のACアダプター(DC3V 〇-〇-〇 対応)を準備します。
- 本体左側面の外部電源端子に、準備したACアダプターのプラグ側をしっかりと差し込みます。

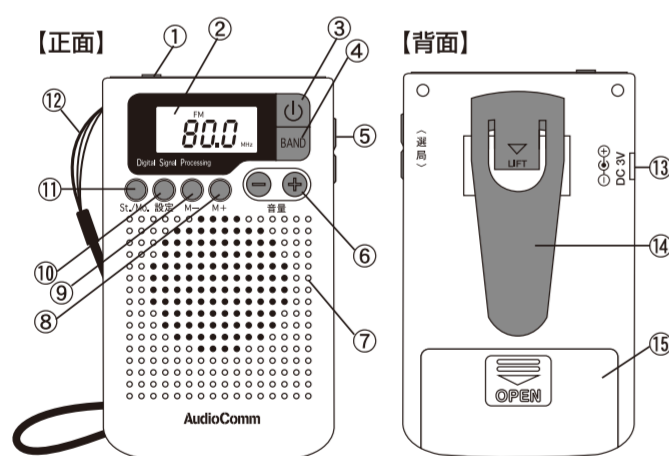
- プラグの極性は、センタープラス(〇-〇-〇)です。
※市販のACアダプターでは、プラグの極性変換ができる商品もありますので、極性を間違えないようにご注意ください。
- ACアダプター本体を家庭用コンセントへ根元まで確実に差し込みます(下図参照)。
 - 自動的に電源が乾電池から、AC電源に切り替わります。



※ACアダプターをご使用の際は、ACアダプターの取扱説明書もよくお読みになり、正しくご使用ください。

- 【クリップの着脱方法】**
本体背面のクリップは、着脱式です。クリップのLIFTマーク部分を上に持ち上げて下に引くと、クリップは外れます(左図参照)。クリップを装着する場合は、逆の手順でカチッと音がするまではめてください。

ラジオ各部の名称



- | | |
|---------------|----------------------|
| ① イヤホン端子 | ⑨ メモリー(-)ボタン |
| ② 液晶画面 | ⑩ 設定/スキャンボタン |
| ③ 電源/スリープボタン | ⑪ FMステレオ⇄モノラル/ロックボタン |
| ④ バンド/アラームボタン | ⑫ FMアンテナ内蔵ストラップ |
| ⑤ 選局(▲/▼)ボタン | ⑬ 外部電源端子 |
| ⑥ 音量(-/+)ボタン | ⑭ クリップ |
| ⑦ スピーカー | ⑮ 電池ボックスカバー |
| ⑧ メモリー(+)ボタン | |

ラジオの使い方

- 「電源/スリープボタン」を押すと電源が入ります。液晶画面が時刻表示→「On」表示→周波数表示になります。



- 「音量(-/+)ボタン」の(-)または(+)を押して、音量を調節します。
- 「バンド/アラームボタン」を押すごとに、AM⇄FMステレオに切り替わりますので、お聴きになるバンドを選択します。
- 「選局(▲/▼)ボタン」の(▲)または(▼)を押して、お聴きになる放送局に合わせます。なお同ボタンの(▲)または(▼)を約2秒長押しすると、自動選局となり、電波の強い放送局を自動検知して止まります。
※AMは9kHz、FMは0.1MHzステップで周波数が増減します。
- 電源を切るときは、「電源/スリープボタン」を押します。液晶画面が「OFF」表示→時刻表示になります。



■ステレオイヤホン(付属)の使い方

本体スピーカーはモノラル再生です。FMをステレオで聴くには、ステレオイヤホン(付属)をご使用ください。ご使用方法は以下の通りです。

- 「ラジオの使い方・項目②」の段階で「音量(-/+)ボタン」の(-)を押して、音量を最小(VOL.00)にします。
 - イヤホンのプラグを「イヤホン端子」に差し込みます。
 - イヤホンの(R)表示側を右耳に、(L)表示側を左耳にしっかりと装着します。
 - 「ラジオの使い方・項目②」以降の手順でラジオをお聴きください(イヤホン使用時はスピーカーから音は出ません)。
- ※プラグをイヤホン端子から抜く際は、プラグ部分を持って抜いてください(断線のおそれがあるのでコードを持って抜かないでください)。

受信について

- AM放送を聞くとき
本体を放送が一番良く受信できる方向に向けてください。
- FM放送を聞くとき
ストラップが、FMアンテナを内蔵しています。ストラップを伸ばし、一番良く受信できる方向に向けてください。また、本機はFMステレオ⇄モノラル切り替え機能付です。FM放送受信中に「FMステレオ⇄モノラル/ロックボタン」を押すごとに、FMステレオ⇄モノラルに切り替わりますので、電波が弱い時は、聴き取りやすいモノラル受信に切り替えてご使用ください。
- 電車や建物の中で聞くときは
電波状態が悪い所では受信できないことがあります。本体をできるだけ窓に近づけてお使いください。
- 音声について
●AMIはモノラル音声、FMはステレオ音声(モノラル切り替え機能付)です。
●本機はTV放送の音声は受信できません。

便利な機能について

■液晶バックライト
各ボタンを押すごとに液晶が約5~7秒点灯します(電源オフの状態でも機能します)。暗い場所などで便利です。

■誤作動防止ロック機能

「FMステレオ⇄モノラル/ロックボタン」を約2秒長押しすると、すべての操作がロックされ誤作動を防止します。再度、約2秒長押しするとロックが解除されます。



プリセットメモリーの使い方

- 手動で選局して保存する場合
①「ラジオの使い方・項目①~④」までの手順で選局します。
②「設定/スキャンボタン」を押すと液晶画面にプリセット登録番号が約3秒点滅します。点滅中に「メモリー(+)ボタン」と「メモリー(-)ボタン」を使用して、設定する任意のプリセット登録番号(0~19まで)を点滅させます。
③再度「設定/スキャンボタン」を押すと、設定したプリセット登録番号で保存完了です。
④同じ手順でAM/FM各20局までメモリー保存可能です。

■自動で選局・保存する場合(ATS)

- 「ラジオの使い方・項目①~④」までの手順でAMかFMを選択します。
 - 「設定/スキャンボタン」を約5秒長押しすると、ATSが作動して受信感度のいい放送局を自動で選局・保存します(AM/FM各20局まで)。
- ※ATS(オートチューニングストレージ)を使用してプリセット登録すると、以前のプリセットメモリーは上書き消去されますのでご注意ください。

■プリセット登録した局の聴き方

- 「ラジオの使い方・項目①~④」までの手順でAMかFMを選択します。
- メモリー(+)ボタンとメモリー(-)ボタンを使用して、液晶画面に表示されるプリセット登録番号より、お聴きになる番号(局)を選んでお聴きください。

主な仕様

受信周波数	FM 76-108 MHz AM 522-1620 kHz
メモリー	FM/AM各20局(合計40局)
電源	DC3V 単4形乾電池×2本(別売) 外部電源: DC3V 〇-〇-〇 (市販ACアダプター使用)
電池持続時間	スピーカー使用時 AM受信 約30時間、FM受信 約26時間 イヤホン使用時 AM受信 約34時間、FM受信 約30時間 (アルカリ乾電池使用、音量中程度として)
外形寸法	幅60×高さ99×厚15mm(突起物含まず)
質量	約61g(乾電池含まず)
付属品	FMアンテナ内蔵ストラップ(本体装着済)、ステレオイヤホン、クリップ(本体装着済)

※外観、仕様は予告なく変更する事があります。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり、正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買上店、またはオーム電機修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間が過ぎた場合は、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償で修理させていただきますので、お買上店にご相談ください。

株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは

お客様相談室
●通話料無料
0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは
048-992-2735

電話受付
平日 9:00~17:30
土曜 9:00~17:00

修理・部品取り期間中は
修理ご相談センター

電話 048-992-3970
受付 平日 9:00~17:00

※土・日・祝日及び年末年始は休みます
07-91564

AudioComm®

DSP FMステレオ/AM ポケットラジオ RAD-F300N シリーズ



取扱説明書

AudioComm
DSP FMステレオ/AMポケットラジオをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しく安全にご使用いただくため、ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保存してください。

- アラーム設定を解除するには、電源・オフ時に「バンド/アラームボタン」を押します。液晶画面の「OFF」が点灯して設定解除です。
- ※電源オフの状態でもアラームは作動します。
①アラーム音としてブザーを選択している場合→ブザー音に切り替わります。
②アラーム音としてラジオを選択している場合→アラーム設定の音量(VOL38)に切り替わります。
※通常使用の際は、必ずアラームを解除してお使いください。



■スヌーズの使い方

- アラーム音として「buZ(ブザー)」を選択したときのみ、スヌーズ機能をご利用いただけます(ラジオを選択したときには使えません)。
- アラームを切るときに「バンド/アラームボタン」を押すと「スヌーズ」となります。アラームが一旦停止後約10分で再度アラームが鳴ります。
 - スヌーズを解除するには「電源/スリープボタン」を押します。



■スリープタイマーの使い方

- 電源オフ時に「電源/スリープボタン」を約2秒長押しすると、液晶画面に「SLEEP 90」が表示されます(スリープ時間90分)。
- 続けて、同ボタンを押すごとに80~10分まで10分刻みで設定が可能です。設定完了後すぐに電源が入り、設定時間が経つと電源が切れます。おやすみタイマーとして便利です。

